自分の研究や普段の生活の中で、この講義で説明した考え方（WBS、FTAなど）がどのように応用できるか、自分の考えを簡単に記述してください。

また、講義についてのご質問、ご意見、ご感想などもしありましたら、合わせてご記載ください。（ご質問、ご意見、ご感想についてはもしあればでかまいません。）

私は，今回の講義を通して，WBSやFTAの考え方を

研究生活においては，まず大きな目的を設定し，トップダウンアプローチを行う．目的に対応した手段を設定し，ツリー状の図を作成することで

WBS:

プロジェクトのタスクを網羅的に細分化，明確化することが重要である

スケジュール管理:

マイルストーンや拘束条件を設定

クリティカルなプロセスを意識し，並行して行えないタスクに注意する．

FTA:

故障や失敗のリスクを考慮してスケジュールを組む

失敗の起こり得る可能性や原因，それが及ぼす影響について理解しておくことが重要である．